

あなた^{びと}のとなり人^{あい}を愛^{あい}しなさい

「ハッピー・バースデー、ディア・トーマス。

ハッピー・バースデー・トゥー・ユー！」

今日は、トーマスの^{きょう}6才^{さい}のたん^{じょう}生日^びです。

トーマスは^{たの}ずっと、この日^ひの^く来る^くのが
楽しみ^{たの}でした。

親友^{しんゆう}のチューリも、トーマスの^か家族^{ぞく}や

たくさんの^{とも}友だち^{おな}と^{おな}同じく、パーティーに

来^きています。リビングルームのテーブルには、

プレゼントが^{やま}山のよう。けれどもトーマスは、

自分^{じぶん}は白^{しろ}と黒^{くろ}のピカピカのサッカーボールが

最高^{さいこう}に^き気^いに入ると^いわかっていました！これで、

トーマスの^も持っているサッカーボールは

二つ^{ふた}に^{ふた}なります！

「一つは、お父^{ひと}さんとサッカーを^とする^{とき}時に

使う^{つか}やつ。もう一つは、子犬^{ひと}と遊ぶ^{こいぬ}時に^{あそ}使う^{とき}んだ。」



きゃく お客さんが みんな 帰^{かえ}ってしまうと、
かあ お母さんと お父^{とう}さんと お姉^{ねえ}ちゃんの ケイトは、
リビングルームに 山^{やまづ}積みの おもちゃを
ながめました。

あた^{あたら}ら 「新しい おもちゃを、どこに 片^{かたづ}付けたら
いいかしらね。」 お母さんが 笑^{わら}いながら
い^いいました。「おま^へえの 部屋^やの おし入^いれには、
はい 入りきらないわね。」

あそ 「もう 遊^{あそ}ばなくなった おもちゃを、ほかの
こ 子^こたちに あ^あげては どうかな。」 と お父^{とう}さん。
「そうすれば、とても 喜^{よろこ}んでくれる 子^こどもたちも
いるだろうよ。」

トーマスも、うなずきました。トーマスは、
ひと ほかの 人^{ひと}たちを 幸^{しあわ}せに する^すのが 好き^すいなのです。

つぎ ひ 次の日のこと。トーマスが お母^{かあ}さんと
いっしょに 子^こ犬^{いぬ}を 連^つれて 近^{ちか}くの 公^{こうえん}園^いへ 行^いくと、
チューリが サッカーを して^していま^{いま}した。チューリが
とも 友^{とも}だちと 使^{つか}っていた ボール^{ふる}は、古^{ふる}くて 空^{くう}気^きも
いくぶん め^めけていま^{いま}した。



トーマスは、公園へ 持ってきた 自分の
サッカーボールに 目を やりました。家には、
まだ 新品の サッカーボールが あります。
持ってきた やつを チューリたちに あげたら、
きっと すごく 喜んでくれるでしょう。
「お母さん、この ボール、チューリに あげても
いい? うちに もう一つ あるから。」

「それは それは、やさしいのね。」と
お母さん。「いいわよ。きっと、チューリと
お友だちは、とても 喜んでくれると 思うわ。」

「チューリ、この サッカーボール、
いらない?」 トーマスは チューリに 歩み
寄りながら 聞きました。

「うわあ、最高!」と、チューリが 答えました。

その日の 午後、チューリと トーマスは、
友だちと サッカーをして 楽しく 遊びました。



その日、夕食の時に お父さんが 言いました。
「トーマス、自分の ボールを チューリに あげる
なんて、お父さんは おまえのことを とても
ほこらしく 思うよ。おまえは チューリを すごく
幸せに してあげたんだね。」

「ぼく、イエス様にも 喜んでもらったよ。
聖書に、『自分の となり人を 愛する』ことが
書かれてるのを 思い出したんだ。チューリは、
ぼくたちの となり人でしょ？ おとなりさんの
となりに 住んでるものね！」と、トーマスが
言いました。

「確かに その通りだね、トーマス。それにな、
聖書には、わたしたちの 助けを 必要としている
人は だれでも、わたしたちの となり人だとも
書かれていることを 知っていたかい？ 昔々、
ある人が イエス様に、『となり人を 愛せよ』とは
どういう 意味なのかと たずねたんだ。この人は、
神様が 自分に となり人を 愛してほしいことは
わかっていたんだが、それが だれの ことか
わからなかったんだね。それで イエス様は、
その人に 良い サマリヤ人の お話を して
あげたんだよ。」



この お話の 全体は、ルカによる
福音書 10:25-37 を 読んでね。

「そのお話、覚えてるよ。」 トーマスが
熱心そうに 言いました。「エリコに 行く
とちゅうの 人についての お話だね。
悪い 人たちが 彼から 物を うばい取って、
その人を ケガだらけにして 道路の わきに
放って行っちゃったんだよね。その後
そこを 通りかかった人たちは 彼の ことを
助けなかったけど、サマリヤ人が 来て、彼の
めんどろを みてあげたんだよね。」

「その通り。イエス様は わたしたちにも、
その 良い サマリヤ人のようになるべきだと
いうことを 知ってほしいんだ。いつでも ほかの
人たちを 助けられるようにね。わたしたちは、
近所に 住んでいる 人たちだけでなく、
だれにでも 親切に してあげるべきなんだ。」

「ぼくも、そう なりたいな。」と トーマス。

「お父さんもだよ。」

あくる 日、トーマスが 公園に 行くと、女の
人が、公園に 捨てられていた 缶や ゴミを
拾っていました。



「お母さん。あの 女の 人、公園の そうじを
手伝ってくれる 人が 必要かなあ？」 トーマスが
たずねました。

「そんなことに 気づいたなんて、感心だわ！
聞いてみましょうか。」と お母さん。

二人が 女の 人の ところへ 行って たずねると、
彼女は ほほえんで、トーマスに ありがとうと
言いました。「そんな ことを たずねてくれるなんて、
親切な おぼっちゃんね。手伝ってもらえれば、
大助かりだわ。」

ほかの 人たちの 手助けを すると、トーマスは
とても うれしくなりました。ほかの 人たちに
対して 良い サマリア人になれるなんて、すてきな
気分です。トーマスは、ほかの 人たちのために
何かを してあげること、大きな 喜びに 満ちた
1 週間を 過ごしました。

お
終わり

聖句：わたしは、新しい いましめを あなたがたに
与える、たがいに 愛し合いなさい。わたしが
あなたがたを 愛したように、あなたがたも
たがいに 愛し合いなさい。(口語訳聖書、
ヨハネによる福音書 13:34)



文：アリーヤ・スミス、サイモン・ピーターソンによる話の編集 絵：アルビ

デザイン：クリスティア・コーブランド 出版：マイ・ワンダー・スタジオ

Copyright 2011 年、ファミリーインターナショナル

“Love Your Neighbor” --Japanese

<http://www.mywonderstudio.com/0-5/2011/8/15/love-your-neighbor.html>